

新田 宗彦 ギターリサイタル

1981年4月6日（月）夜7時

那覇市民会館 中ホール

主催 新田宗彦ギター教室
後援 沖縄県ギター連盟
琉球新報社
沖縄タイムス社

御挨拶

本日はお忙しい中、当コンサートに御来場下さいまして誠にありがとうございます。11年振りに沖縄にもどり、郷土の発展ぶり、文化面の向上には驚くばかりですが音楽においても同様で、ギター界でも近年優れた演奏をする人が増え、大変喜ばしい事だと思います。

私も自分なりにこれまで勉強してきたものを本日、発表することとなりました。本日は私の恩師鈴木巖氏を賛助にお迎えして独奏、二重奏を演奏致します。何卒最後までお聴き下さいまして、御批評、御指導賜わりますようお願い申し上げます。最後に本日のコンサートを開催するに当たり御協力下さいました県ギター連盟の諸氏、琉球新報社、沖縄タイムス社、関係者各位の皆様に厚く御礼申し上げます

新田 宗彦



新田宗彦略歴

沖縄県那覇市生まれ、1974年より1980年まで鈴木巖氏に師事。その間同氏の高弟によるジョイントコンサートのメンバーに選ばれ、定期の演奏会に毎年出演、好評を得た。1976年からは鈴木巖氏の代講師をつとめ、主に小中学生、高校生のギターを指導。現代ギター音楽協会沖縄支部長。新田ギター教室主宰。



鈴木 巖略歴

1957年モスクワ国際ギターコンクール第1位。その後3度のソ連演奏旅行、1969年にはポーランド政府に招かれリサイタル、協奏曲の協演を行なう。1973年、1976年に欧州各国、東南アジア、オーストラリアへ演奏旅行。国内ではこれまで各地で合計約1000回のコンサートを弾いてきた。1977年N H K T V ギターをひこうの講師担当。現代ギター音楽協会主宰。

曲

目

1. 独 奏

新田宗彦

前奏曲1. 3. 4番

H・ピラ=ロボス

スペインの城より

F・Mトロバ

1. トゥレガーノ

2. 眠れる王女

3. セゴビアの城

マジョルカ

I・アルベニス

朱色の塔

"

2. 独 奏

鈴木巖

組曲二短調

R・ド・ビゼー

1. プレリュード

2. アルマンデ

3. クーランテ

4. サラバンデ

5. ガポット

6. ジーグ

コンツェルト・イタリアーノ

D・チマローザ

1. アレグロ

2. ラルゲット

3. アレグロ

幻 想 曲

鈴木巖

古 典 舞 曲

"

3. 二 重 奏

第1ギター 新田宗彦

第2ギター 鈴木巖

セレナーデ第1番

F・カルリ

カンタータ第147番

J・S・バッハ

沖縄の歌

鈴木巖編

曲目解説

3つの前奏曲（No 1, 3, 4）

H・ピラ＝ロボス

エイトール・ピラ＝ロボス（1887～1959）はブラジルの生んだ偉大な作曲家で、ギター曲以外にもピアノ、歌曲、交響曲等の作品を残し、その数は2,000曲以上にも及ぶと言われています。作風はブラジル原住民の音楽に根ざした民族色の濃いものです。彼はギターの演奏もかなりの腕前であったと言われ、彼の残した12の練習曲、ギター協奏曲などはギターを知り尽くしたという感があります。前奏曲は全部で5曲ありますが、本日はその中から3曲取り上げました。まず有名な第1番ホ短調はゆっくりした漁夫の歌に大鼓のリズムと思われる伴奏部が付してあり、中間部のアルペジオの跳躍が素晴らしい。第3番イ短調は前半の男性的な分散和音と後半の夢見る様な幻想的な女性的なメロディーの美しい曲です。第4番ホ短調は原住民の太鼓を思わせる即興的な出だしで始まり、カンパネラを伴う急速なアルペジオを経て、再び遠くから太鼓の音がきこえてきます。

スペインの城より

F・M・トロバ

フェデリコ・モレノ・トロバ（1891～）の作品は大変旋律が印象的で、又、スペインの風土を良く表わしたものが多くギターの為に書かれた作品も大変数多くあります。彼はスペインの作曲家として最長老であるばかりでなく、スペイン歌劇サルスエラの作曲家として最も高名な人です。スペインの城は全8曲から成る組曲ですが本日はその中より3曲演奏します。トゥレガーノは町の名で、セラニヤ田園叙情詩の副題があり、眠れる王女は、シグエンサ（やはり町の名）が本題です。最後のセゴビアの城には武装を命じる、という物騒な副題があります。

マジョルカ・朱色の塔

I・アルベニス

イサーク・アルベニス（1860～1909）はピアニストであり作曲家でありました。彼の音楽は一貫してスペイン的特色を明確に表現しています。彼は夢多く放浪の旅を続け、13才の時、カディスからひとり船に乗り、コスタリカをふり出しにアメリカ大陸を演奏して歩いたという話が残っています。彼はギターのオリジナル作品は書いていませんがギターの音楽についてはよく知っていて、又、愛着を持っていたようです。彼が天才少年として活躍していた頃に8歳以上のフランシスコ・タルレガとジョイント・リサイタルを行なったという記録もあります。彼の作風は自由で楽天的であり、同じカタロニア出身のグラナドスが内省的土着的であるのとは好対照であるといえましょう。マジョルカは地中海に浮かぶマジョルカ島を歌った舟歌で、物憂い前半部と、朗々とうたう後半部の対比がとても美しい曲です。

朱色の塔は古都グラナダに中世の回教徒たちが遺した朱泥塗りの塔を題材にしたセレナーデで、急速なアルペジオにのって嘆くような旋律がギターで弾かれると一層の効果をあげ、古き時代への憧れや郷愁などを感じさせます。

組曲二短調

R・ド・ビゼー

ロベール・ド・ビゼー（1660～1720）はフランスの宮廷に任え、後にルイ14世のギター教師も務めた大ギタリストで作曲家です。ギターの作品は数多くありますが、当時親交のあったリュリーのオーケストラでしばしば演奏され、ビゼーの作品がギターのみならず、オーケストラでも演奏される程優れていたと言えます。又、17世紀

曲目解説

から18世紀にかけて、いわゆる前古典期のギターの隆盛は、此のビーゼーからはじまると言われております。此の組曲は古き良きフランスを表わした曲であります。尚ブーレ、メヌエット、パッサカリ工もこの組曲に含まれていますが随意曲なので省略しました。

コンツエルト・イタリアーノ

D・チマローザ

ドミニコ・チマローザ（1749～1801）はスカルラツティやボッケリーニと並び称される大作曲家です。機知にあふれたいきいきとした性格、豊かな旋律、陽気さがチマローザの特色であるといえましょう。コンツエルト・イタリアーノは、元はチェンバロのソナタですが、後に作曲者自身がオーボエ協奏曲に編曲しています。曲はアレグロ、ラルゲット、アレグロの急緩急で構成され、リズミカルで明快な旋律はいかにも南国イタリアを表わしています。

幻想曲、古典舞曲

鈴木 嶽

幻想曲は会津に古くから伝わる玄加節をもとにして、又、その歌にまつわる伝説を幻想風に作曲されたものです。古典舞曲は終戦後はじめて一般に公開された宮中の雅楽の神秘的な感じをギターに表現したものです。

セレナード第1番

F・カルリ

フェルディナンド・カルリ（1770～1840）は18世紀の大作曲家ハイドン、モーツアルト、ボッケリーニ、ベートーベンなどの影響を受けて、又、当時の最も世俗的な作風をもったギタリストであり作曲家です。又、近代ギター技法の基礎を築いた人でもあります。セレナード第1番は彼の代表的な作品でダイナミックな作風をもっています。第1楽章はイ短調のゆるやかな序奏と、イ長調でソナタ形式のアレグロモデラートで構成されています。第1ギターと第2ギターが交互にメロディーを受け持ります。第2楽章は短かくリート形式で書かれ2本のギターによる3度の平行、6度の平行が美しい響きをきかせます。第3楽章はソナタ形式で書かれ、やはり第1ギターと第2ギターが交互にメロディーを受け持ります。

カンタータ 147番

J・S. バッハ

ヨハン・セバスチャン・バッハ（1685～1750）については何も書く必要がないと思いますが、ギターのレパートリーとしてもさかんに取り上げられています。独奏ではリュート組曲やチェロ組曲等がよく弾かれ、ギター合奏でも、管弦楽組曲や、プランデンブルグ協奏曲等が弾かれますが、バッハの作品には他の楽器に転用して弾かれても差しえないものが多く、これがバッハの大きな魅力だと言えましょう。カンタータ 147番は「主よ人の望みの喜びを」というタイトルでよく知られた曲を鈴木巌編曲により演奏します。

沖縄の歌

鈴木 嶽編曲

本日最後の曲は鈴木巌先生が私の為に書いて下さいました。皆様がよく御存知の沖縄の旋律がメドレーで演奏されます。

沖縄の歌

鈴木 嶽編曲

本日最後の曲は鈴木巌先生が私の為に書いて下さいました。皆様がよく御存知の沖縄の旋律がメドレーで演奏されます。この小さな島で独自の文化を築き上げ、美しい旋律を残してくれた私たちの祖先に対する深い感謝の念と、沖縄に生まれた誇りと喜びを感じずにはおれません。

生徒募集

初步より個人指導致します。

新田宗彦ギター教室

那覇市与儀 199

電話 0988 (55) 8241

